

第7回伊豆市教育振興審議会会議録

開催日時 平成30年5月25日（金）午後7時15分～午後9時00分

開催場所 伊豆市役所 別館 2F 大会議室

出席委員 菊地篤子会長、勝呂義衛副会長、澤木育子委員、鈴木浩二委員、鈴木洋一委員、金子歩美委員、石井美香委員、井澤彩香委員、原勝也委員、鈴木千秋委員、藤江康彦臨時委員、菊池之利臨時委員【12名】

欠席委員 鈴木和仁委員、小笠原茂委員【2名】

事務局 西井教育長、金刺教育部長、菊地統括監、小塚課長、工藤指導主事、梅原学校教育専門員、鈴木主任

1 開会

ただいまより第7回伊豆市教育振興審議会を開会いたします。

2 会長挨拶

前回皆様の意見をきくことが出来て、方向性がほぼ定まったのではないかと思います。前回に引き続き今回も委員の意見を聞くということで非公開で行う。非公開ではあるが、ここで出た意見は名前を伏せてホームページで公開するので、ご了承ください。

3 報告事項

事務局

前回の資料にあまぎ認定こども園保護者の意見を追加した。同じ様な意見が多かったが、教育機会は多様な選択肢が欲しいという意見があった。これは前回の審議会の中でも話題になったこと。少人数、大人数それぞれに向く子がいるので選択できるとよいという意見もあり多様なこどもの要望に応えるということになる。統合した方が人口流出の抑止になるということも前回の審議外で話題になったこと。特別支援学級についても意見があげられている。人間関係づくりでは、ずっと同じメンバーではいじめっ子、いじめられっ子は変わらないという経験を持った方の文章があった。バスが少ない所は、現在天城、中伊豆、修善寺でもバスの通っていない所がある。修善寺中でも、大野や堀切地区は送迎前提でやっている。

4 協議

(1) より良い中学校の教育環境づくりに向けての意見交換

会長

答申の骨子というか答申案を事務局で準備したので、読み上げます。聞きながらチェックを入

れていただいたり、キーワードとしてこれがある、若しくはない、構成なども見ていただきたい。長さも3頁になっているがもっと長くても短くてもいい。頭の中で整理しながら聞いていただきたい。

検討用素案を読み上げ。

委員

10年後を見据えたより良い中学校教育環境についてとあるが、合併特例債が5年延期されたことを考えると10年程度というのはどうか。

会長

10年というのは、どこからいつどのようなタイミングで決めたのか。なんとなく10年なのか、こどもの数が急激に減るのが10年後なのか、5年くらいのスパンで考えてもいいのではないかという意見である。

委員

この審議会の話し合いの資料として提示された伊豆市の各中学校の生徒数の推移をみて10年後にはこれだけ生徒が減るから、中規模くらいにしなければいけないという意見が出たと思うので、昨年から考えての10年後。そのようなスパンでの資料があったので。この9年後というのは10年間を見据えた生徒の増減の対応だと思う。統合するのかもしれないのか、何年先かという話ではなく、生徒数を10年間考えたときの伊豆市の現状ということが視点にあったと思う。今後これが策定されて何年間で新しい学校を作るのかという年数ではなかったと思う。答申案でも早急に結論を出して、統合するなら統合していこう、そのようなことが必要であるという、急務であるという、内容で出されているので、10年後を見据えて統合しましょうという話ではないと思う。

委員

10年という数字を入れるのであれば、今後10年間くらいの、ではどうか。いれなくていいのであればいれなくていい。

会長

急務というのは出ている。

委員

今後のとか、今後を見据えたとか、数年後とか、それか全然なくしても良い。

会長

より良い中学校教育環境についてだけでもいいのかと思う。10年という数字を出してしまうと急務感が減るというのであればなくす。

10年後というのはやめた方がいい。この中でスピード感を持って検討していくということが必要である、喫緊の課題などそのような言葉をどこかに入れたほうがいい。

委員

どこを基準に10年後なのか、10年後に改善しようということなのか誤解を招くので10年後は入れない方がいい。

委員

諮問等の対応を考えると、諮問には「喫緊の課題との認識のもと、早急に検討に着手すべきものとの考えから」とあるので、急ぎというニュアンスを入れるということと、その諮問の基にな

っている請願書の方では、今後の中学校の在り方について複数の方針を明示してほしいとあったので、今後のというくらいでもいいのではと思うし、もう少し喫緊とか早急という諮問の文言を少し使ってもいいかと思う。

委員

誰もが早く統合したいと思っていると思う。10年ってなんだということになる。新聞で熱海の小学校が少子化により10年間で280人減ると出ていたが、伊豆市で減るのは164人ときいている。早く子どもと保護者に夢と希望を与えていかないと、それは教育振興審議会の役割だと思う。

会長

中身ではなく、タイトルにスピード感を求めるということが出るような文言。

委員

土肥で小中一貫をすすめたので、こちらでも伊豆市の教育大綱をもう一度検討したらどうか。こども園、小学校、中学校の連携ということはある程度入れて、土肥はこども園の施設は少し離れているが、小中は施設一体型。中学校が統合したら、天城小、中伊豆小、こども園ともある程度連携を図っていききたいという構想とかランドデザインをやっていかないとただ統合しただけになってしまうので、全体的な伊豆市の教育大綱を入れた方がいいのではないかと。そうすれば土肥地区との整合性が出てくるのではないかと思う。

会長

その土地に合ったというものが伊豆市であり、その中の各地区であり、小さな町であるからその良さがもっとはっきり出るような、大きな町では真似できないような。大事なのは小学校から中学校だけではなく、乳幼児期から15歳までが連続した教育の中で見届けられるということを知りやすく伝えることができるような何かを提示していただきたいということを要望する。そのようなプランをしっかりと明確にしてほしいということをお答申に入れるべきだという考え。それが小中一貫であるか、統合であるか地域によって別々でも基にある考えは同じということになるのではないかと思う。

委員

こども園、小学校、中学校の連携という視点の中で、中学校教育がどのような位置づけとか、どのような役割を果たしていくとかいうことが、子どもたちの連続した育ちの中で中学校時代に、そういった部分で天城、中伊豆、修善寺については一緒に書いていきたい。中規模の学校にして、こういう教育を進めていきたいなど、統合する全体像の中で伊豆市の教育として担ってきたことを説明できるといいと思う。

会長

義務教育の最終地点という意味合いも欲しいかなと思う。その後社会人になる子ども、高校生になる子ども、いろいろであるが、中学校で一つ完結する。その地点としての中学校のありかたという意味で、後ろの見通しの立った連携教育といういい言葉をいただいた。その中での中学校という位置付けを明確にする。そのためにあるのが、人数の問題であったり、部活動の問題であったり、切磋琢磨とかそういう言葉が入ってくることだと捉えている。このような言葉を入れていくことでよいか？（はい。の声あり）

今、比較的教育の話が中心になっているが、その他に教育面についてももう少しこういう言葉を

というものがあればお願いしたい。

委員

今、ICTの教育がかなりいろいろなところで目にする。ICTをやるにしても3校に別れて少ない人数で行うより、ある程度的人数が集まって行った方が機器も充実するし、指導者も育成しやすいし、その方が今後のことを考えると対応しやすいと思う。

今のままの学校の数だと先生たちも少ないので、たまたますごく得意な人が入れればいいが、人数が多くなればある程度期待できるし、得意でなければ教育なり研修などに行ってもらえるなどできるし、指導者面でも機器面でもしっかりと対応できると思う。何があってもICT教育はやらざるを得ない。

会長

ICTが入ってくるということは、企業などとの連携も必要になってくると思う。そうすると地域との繋がりも生きてくるし、ある程度の数があればいい企業もついてくる可能性もある。最先端までいなくても、国が求める最低限というか必要な施設面を整備するような回答が答申に入っているか？（教育環境は一応入っている）

答申を考える時に、「自分が中学生の時は」という考えを持ってくると、現在では通用しないということをどの人にも理解してもらいたい。何年前のことでも自分の時は大丈夫だったという考えは、今の学校教育を考えるとほぼ当てはまらないということを分かっているか？とICTとかは理解しにくい。

英語のスピーキングが求められる時代に2年後はなる。ALTがいればいだけではないかもしれないということを考えると、ただ子どもの教育環境というよりももう少し具体的な言葉が入っていくと書きやすくなると思う。今ってこうなんだということが伝わると思う。

委員

この案には、何も具体的な方向性が入っていない。提案がない。一般の人から見ると、いいことが書いてある。それで終わってしまう。総合計画もそうだが、具体的な案が入っていないと一般の市民が考えることができない。この点も考えて答申をつくらなければいけないと思う。

会長

課題は十分把握しているということを伝えなければいけない。課題面については後でまとめたと思う。

委員

この案の3頁にある「総括」が「結論」という意味か？この審議会としては、中学生にとってより良い教育環境とは、中規模程度とした方がいいのではないかということで、皆さん同じ意見であると思う。であれば、望ましいより「すべきである」ということではないのか。

会長

審議会の意見として、望ましいではなく「すべきである」ということか。

委員

案には、この前段にも望ましいがいくつもある。これはそれまでの理由付けだからいいのかなと思いつつ、読んでいくけど「べきである」でいいと思うところもあるにはあるが、どういふものだろうか。

会長

一番最初に私たちはこう考えました、こういう意見でまとまりましたと出し、その理由が次に何々面、何々面と出てきた方がいいのかと考え。

委員

途中の記述での「望ましい」はいい。一番初めの「確保されていることが望ましい」は「確保されるべきだと考えています」というところで、結論もやはり統合により中規模程度すべきであるという方がいい。後は基本方針を受けての課題を整理するところの魅力ある（特色ある）学校教育環境づくりのことだと思う。ICTだとか英語の関係だとかは。伊豆市の特徴をすごく出してやらないと普通の学校を作ったのではいけない。他の地域や伊豆市から出て行った人たちから、伊豆市もいい教育をやっている、伊豆市の教育は面白そうじゃないかということで伊豆市に戻ってくるとか、来たがるようなことが大切だなと思う。

委員

今、文科省も学習指導要領を出す訳で、先生方も十分分かっているけどもそういう中の新しい言葉ってある訳じゃないですか、だからアピールするにはそういう言葉を入れた方がいい、今、委員にも言ってもらったのですが実際読んでも、目玉というか今までと同じかなと言われると、なるほどとなってしまうので、やっぱりそういうものを先取りしてやるくらいの方が考えているとアピールになる。

会長

1 + 1 + 1 = 3ではなく、より価値が増して5とかになるようであってほしい。実際できるかどうか分からないが、そういうことをやってくださいということを審議会として出せばいいと思う。

委員

何もなかったところからの統合ではなくて、1回否決されてマイナスからの出発だと思う。大風呂敷を広げすぎてもよくないが、ある程度「夢」を入れていかないと説得力がないというか、ダメだったからもう1回頑張りましょうみたいなところだけでは、また同じことが繰り返えられる気がする。

委員

構成の中で先ほど10年という話しが出ていたが、2番の一番初めに一緒にする内容について人の問題なんだということを一番初めにもってきたところは賛成でそうすべきだと思う。いろんな環境だとかいろんなことがあると思うが、なにしろ中学校なので専門の先生が教えるということが一番だと思うので人の問題が一番にこななければならないかなと思った。

会長

中学校は中規模だとかうだということは全部もちろん記載してあって、小規模だとかうになってしまうということはあえて記載していない状況だが、それは記載しなくてもいいのか？小規模だと専門外の教員が持つことで専門的な教育が受けられないという事実、それは書いてはいけないのか？

事務局

免許外の免許を持っていない先生が教えるという状況は、数字からいうと小規模校の方が起こ

りやすいのだが、中規模校、大規模校でも起こる。大規模校、中規模校ならそれを防げるかと言ったらそんなことはない。1週間の授業時数は微妙なところがあるので、2人の先生だと足りないけど3人だと多すぎるという時に2人プラス端数がどうしても出る。小規模校だけで起こる問題ではないので、そこは言えない。小規模校で起きても授業だけの話しならば、お金を出して解決できる。非常勤を雇えば。ところが、小規模校だとできないのが常勤させられるかどうか、小規模だと美術の先生が存在しないということがあり得る、授業時数がものすごく少ないから。

でも中規模校になると定数として1人を置いておけるその魅力、授業以外のところでも子供たちに音楽とか美術にかかわりを持ってもらえる。そこが、中規模校じゃないとできない。定数としてきちんと配置できる。それがあったので、免許外の話をする中規模校にも時数の関係で起こり得るので配慮した。

委員

確かに常勤というところは大切に伊豆市はかなり非常勤がいますが、作品展とかなかなか大変で、常勤というところは非常にいいと思う。

委員

2ページの学力面や教育環境のところ、1)の最後の方だけ「そのためには、適切な教員定数が保障される」というところで、教員定数は教員定数表があつてのことだから適切な教員数ではないかと思う。教員定数は文科省が定めた数である。なぜ、適切な教員数が保障されるかという教員定数法によって保障されているからという意味である。であるので、ここは教員定数ではなくて教員数が保障されるがいいのではないかと思う。

もう1点。通学面においてのところだが、特に伊豆市は他の市町に比べ通学エリアが広いので、通学対策が必要であるとあるが、この通学対策には防犯も入っていると思う。今、小学生の関係が多いが防犯関係とかそういうものを考えているということで、もうちょっと防犯とか途中で災害が起きた場合の防災とか対策が必要になってくるもう少し具体性を入れた方がいいと思う。

それで、2番目の方で通学の方法についてのことを言っている。

構成としては、これでいいと思うが、1番の方に防犯や防災というものをしっかりしてもらいたいということをこちらからの要望でやってくれと加えて欲しい。

会長

以前、夜の外灯の数の話しもあった。

委員

ここの項目のことだけで言うと、中身自体はどちらかというと、基本方針を受けての課題のような気もする。統合した場合の話しをしているので、中規模であることの方が望ましいことを言わないといけないが、そうすると違う中身、委員の防犯の面とかもう少し違うことを書く必要がある。ここだけ浮いている感じがする。

会長

課題面ですね。むしろ課題です。

委員

これは総括をした後になる。

委員

通学に関しては、統合していく中でかなり大きなウェイトを占める。安全に通学できるか、なるべくみんなが不便なく各子どもたちにそれぞれに安全に通学できるかなどが大切である。最終的にはそういうところがネックになってくると思われる。

会長

通学面なのですが、実は帰りの方が相当心配で、保護者としては行きは見られるが帰りは見られない。通学面だが放課後の過ごし方というか、例えば何時には行けないけどここに居られるというようなターミナルみたいなところが各地域か中学校に欲しい。暗くなった時間、遅くなった時間も安全だということがあれば遠くてもそこにいてくれれば大丈夫と保護者は思う。そこに迎えに行けば大丈夫と思えるそういう居場所があって欲しいとも思う。

委員

それは、小学校の場所ではないか。機能的にどうかというよりも、一番便利な場所であるというだけの意味だが。

会長

小学校もありますし、例えば中伊豆は支所でもいいかなと思う。

委員

中学生の学童みたいな場所があるといいということですね。

委員

そのことを付け加えたらどうか？きめ細かい通学対策のようなことを、様々な視点からもう少し色々な考えということを入れていったら皆さんも安心する。そのためにここで言葉を一つずつ埋め込んでいくのはかなり無理があるので、きめ細かくて色々なことを各地域エリアでもう少し出していかないと早急に答申に織り込めるといったことはないと思う。

会長

課題の方は「放課後の過ごし方」みたいなことか？

委員

自分も前回、同じようなことを提案して、やはり中学生でも通学エリアが広くなればなるほど、スクールバスが充実していればいいが、バスも15分に1本とかで出ている訳ではないので部活や委員会活動によっては終わる時間がばらばらなので、どこかに、遠い人は遠くなればなるほどどこかにいてくれる場所があったらいいなと思い、前回も中学生の学童的な意見を出させてもらった。遠い人の保護者はやはり心配である。

委員

どういうセッティングするか分からないが、実際に通学エリアが広がると、例えば塾に行きたい子なんかは部活が終わって、帰れないのでそのまま軽い食事をとってなどという話もあり得る。図書館みたいなものを独立させて食事もできるしそこで勉強もできてそのまま塾に行けるとか、そこで待てるとかそういう施設ができてくるといいかと思う。

委員

それぞれのエリアで安心できる環境を整えたいと思う。またそれぞれのエリアによって求め方や環境が違ってくるので、それを出して行ったらいいと思う。

会長

だからそこで地域連携ですよ。地域の力、地域から子どもがいなくなるのではなくて地域と一緒に子どもを守り育て安全を確保しましょうということを織り込めるとよいと思う。前回、文教が中止になった時は地域から子どもがいなくなるということが何も払拭されなかった。だから地域で子どもをという言葉はどこかに入りたいと思う。何か他の提案があれば意見をお願いしたい。

委員

そのまま入れたらどうか？地域によってエリアによって問題点も違ってくるので、地域を含めた総合力が今こそ必要なんだということ、統合するならば余計にそういうことが必要だということを入れ、みんなの力で伊豆市の子ども達を守り育てましょうという方向に向かっていけばいいと思う。

会長

もし統合するとしたならば、むしろそれも課題であり、魅力にしていくべきだということ。

委員

先ほどの小中連携とか、こども園と幼小中の繋がりをきちんと作っていくということそこに含まれてくる。

会長

それも魅力になることですね。住んでいると、他と比べる機会がないのでそういうものだと思って生きている。じつは他の町見たらビックリされることも、もしかしたらかなり潜んでいるかもしれない。伊豆市は割と面倒見がいいと思っている。他には、以前保護者の負担感の話がありましたよね？負担の軽減、役員のことなど保護者に対するメッセージが少ないように感じる。もっと入れた方が良いのかどうか？

委員

小規模であればすぐに役員が回ってくるのは事実だ。でも役員に関してはそれが決め手になるほどのことではない。やっぱり親としては学習面、部活面、通学面がきちんと確保されていることが重要で役員のことは順位が低い。子どもの面のことが優先。

会長

かなり皆さんが気になっていた部活動については、最初のところ4)と部活環境としてまとめである。部活動環境として、何かありますか。

委員

部活動の環境面だが校舎とグラウンドが離れているというのは3中学ともそうなのか？

会長

修善寺中がそうである。

委員

(修善寺中だけなら) 言い方を変えた方がよい。うちはそんなことはないと言うかもしれない。

委員

例えばここは施設面の話が中心だが、指導者とか、もっと集団作りとかもっと部活動の教育的側面について書き込めることはないか。指導体制とかそういう教育的側面で書けないか？

会長

部活動は指導体制については書いていない。施設面の話になってしまう。部活の数については一番初めに書いてある。1が環境で、2が指導体制になっている。

委員

施設の面と、指導体制についても記述すべきではないか。

会長

部活動指導についてはあまりはっきり言うことができないところもある。働き方改革法案が可決されたので、今後どうなっていくのか注意したい。

委員

総括について、審議会の考えをこういう風な意見になりましたよということを1番初めに言った方がよい。

こちらが判断したのは 保護者地域の意見、委員の視察、学校規模にかかる文科省等による資料からだけではなく、資料から総合的に判断すると中学生にとってよりよい教育環境を整備していくには統合による中規模程度にしていくことが望ましい。こちらの意見として言うべきところではないか。この総括の案では、だれが言ったのか分からない。私たちは、いろいろな点から考えてこういう3校統合を選びましたということを進言します。というようにしたい。ここは一番大事なところである。答申として3校統合を選んだとしたい。

委員

答申はどこまで踏み込んだ意見かわからないが、最後の一文に統合し中規模程度にすることが望ましいというふうになっているが我々が考えたのは中規模程度であることが望ましいということが先であって、そのためには統合することが必要と考えた。この書き方では統合ありきの話をしていましたという感じにもとられてしまう、教育環境としては中規模程度が望ましい、よって統合すべきであるというように記述した方が、我々が議論してきたことの順に合っているのではないか。

(賛同の意見多数)

委員

必要性を感じるという意見を強く出すことが必要。

委員

必要性を感じるというような文章では弱い、みんなそう思っているのだから、はっきり書いた方がよい。

会長

保障できない、と明言してもよいくらいの強いことばにしたい。資料からというような文面では、紙面上で勉強した結果というようにとられてしまうので 何回も議論を重ねたことを強調したい。

ここではっきりとした明確な審議委員会の意志を示したいというのがこの3行は削除していいのではないか。

委員

緊急性をやわらかく示すには、今まさに必要なんだというニュアンスが出た方がよい。よりよ

いというところで、今伊豆市の中学生に求められる教育という書き方をすることで、今必要なんだけど達成されていないんだということを伝えていきたい。そうすると緊急性が伝わると思う。

委員

中学校教育環境を整える10年後ではなく、今必要な伊豆市の中学校に望むのはということが伝わるような書き方にしたい。

会長

その言い方では、今の中学校教育に携わっている先生方には申し訳ない。今はダメと言っているように聞こえる。

委員

そういう訳ではない。少なくとも10年後はという言葉はいらぬ。

会長

すぐに着手してほしいというメッセージを伝えたい。

委員

やはり教育環境としては中規模程度の学校の集団が必要だ、それには3校の統合が必要だということが伝わるようにしたい。

会長

だいぶわかりやすくなってきた。他の部分で細かいことだが、伊豆市には幼稚園がない。(幼児教育は)こども園・保育園と記述することが必要だと思う。

会長

駐車場のことだが、学校行事、参観日に加え送迎時についてはどうか。

事務局

保護者の送迎を前提にした言葉はどうなのだろうか。ただ、そのことも意識した学校づくりをしていこうとは考えている。学校行事だけでよいのではないか。地域に人に参加していただく行事もある、一般に体育館を開放することもある。この見出しは「駐車場について」だけでよいのではないか。

委員

見出しは、駐車場確保についてだけでもよいのではないか。

事務局

駐車場については中規模にする、統合することの理由ではないから、付帯事項として後ろに書いた方がよいのではないか。

委員

施設の老朽化のところも防災安全面の確保の記述もいれてもいいのかなと思う、老朽化しているので実際使っていて不便もあったり雨漏りの問題もあったりするので・・・。

会長

1ページに防災ということと、老朽化ということについて記述があるが、もっと膨らめた方がよいかもしれない。⑤の中に老朽化ということと防災面についてしっかり書いた方がよいのかもしれない。

委員

子どもたちが学校で安全に過ごせる環境であることが大切

会長・他

天城中のようにグラウンドが落ちる、ひびが入る。というようなことがないようにしたい。

会長

順番はどうしたらよいか。④の通学面と⑥の駐車場は、最後（の配慮すべき事項）に入れるが順番はどうするか。通学面は一番最初かもしれない。一番皆さんが思っていることなので……。次に特色づくり、ここをもう少し伊豆市っぽいものを、特色ある具体例をあげて箇条書きに書いていきたい。あと駐車場は最後でよいと思う。地域と連携することは課題だろうか。より良い環境に入れた方がいいのではないかな。

委員

統合後の課題と考えてよいのでは。

会長

より良い環境に地域との連携について書いていない。

委員

前の項でもふれておきつつ課題としても残してはどうか。

会長

前の項には、地域との連携について書いていないので、人間関係のところ記述したらどうか。いろいろな世代に触れるとか、地域と交流して、中学生が地域であいさつできるような、人間関係を作っていってほしい。人間関係に入れるか、別に地域と一緒に教育環境を整えようという項目を加えるというのはどうか。

委員

より良い教育環境について具体的に示すことはいいのではないかな。

会長

さらに最後の課題のところでも、もう一度念押ししたらどうか。

委員

より良い環境として中規模程度がよいということを考えているのに、地域とのかかわりは、統合するとかえってやりにくくなってしまふ、むしろ一緒にしない方が地域とのかかわりは強いじゃないかと言われてしまふ。むしろ、統合後の方が地域連携の気運が強い。現在は、全市的には教育への関心が高いとは言えないので、市内で学校を1つにして、みんなで新しい教育を作っていこうという気運を高めていくことが必要だと思う。地域ごとに中学校がある現状の中で、子供を学校に行かしていない人の方が多くなっている中で、そのことが教育への無関心を生んでいる、（土肥もそうだったのだが）と考えると、そのことにも触れてもよいのかな。でも、統合すれば、子供を行かしていない方が関心を持ってくれることとは別ではあるが。地域とのつながりを課題としてあげ安いのだが、だから統合した方がよいということにはならない。つなげるための言い方はどうしたらいいのか。

委員

3ページの課題の中で、若い世代が戻りやすいようにとあるが、このことを教育委員会がやる

ことなのかはわからないが、ただ子育て世代が減っているということは課題であるので、そこに関連することを課題として入れるとしたら入れられるが、それも、中規模にしたら解消されるかはちょっとわからない・・・。

会長

地域の総合力と若い世代が戻りやすいという課題は同じなのかもしれない。

委員

若い世代が戻りやすいという言い方はどうなのか。大学を出た若い人が戻ってくるのか。あるという言葉が重なっているのでわかりやすくしたい。若い世代が戻ってくるというのは市全体としての施策だと思う

委員

教育環境が整備されて、若い子育て世代が戻りやすいということである。

会長

戻りやすいではなくて、Iターンでもいいわけで、Uじゃなく、もっとよその人も来たいと思うような、と考えると、ここの地域で、ここの学校に通わせたい、ここで子育てをしたいと思える学校づくりをしたいという文言を入れたい。

委員

子供を通わせたいと思うような学校づくり教育環境を整備していくことが大事。ほかの市から若い子供がいる人たちに来てほしい。

会長

移住者が来て成功している地方もある。そういうきっかけに、この学校がなればいい。ここで教育を受けさせたいと思う親世代・・・ということを伝えたい。

委員

伊豆市で子供を育てたいと思ってもらえるように。

会長

そういう気持ちにさせる言葉があると良い。

委員

長野県にある村で人口がどんどん増えている。思い切った施策をとっている。

委員

信濃町の校納金0の例

委員

愛知県の飛島（とびしま）村の教育は特色がある。財政力が豊かで教育が充実している。

委員

5番の今後の課題のところは、「②のていねいな説明」が最後でよい。とても大切なことだが、最後に書くといい。

会長

「②のていねいな説明」は最後でよいと思う。

事務局

本日、できれば結論を出していただきたいのは、「総括は理由を述べて総括するのか、総括をし

て理由を述べるのか決めてほしい」ということ。また、総括の「保護者や地域の人々の意見」から結論を出したのではなく、「それらの意見を参考にしながら議論を重ねた」が正確である。

会長

まず、総括をどの位置にするのか決めたい。

勝呂副会長

まず結論を述べた方がインパクトがあると思う。

会長

私も先に述べた方がいいと思うが、後にした方がよいという意見はあるか。

委員

総括は先でよい。「1のはじめに」に、文部科学省では・・・という始まりになっているが、私たちは、教育委員会から要請され、教育審議会では文部科学省の言葉を資料の一つとして参考にはしているだけで全てではないので、書かなくてもよいと思う。

会長

請願を受けて、何回も議論を重ねてきたと経緯も書いた方がいいと思う。

委員

「はじめに」は、短くていいと思う。

委員

「教育振興審議では」からでよいのではないかと思う。

会長

「教育振興審議では」からスタートし、「とりまとめました」の前あたりに伊豆市の現状、子供の数の予測等、少子化に伴う課題として挙げられた、中学校のよりよい教育環境問題について議論をし、子供の数が現実に減り続けているということを入れたい。私たちがこういう話し合いをしてきた理由としてどこかに盛り込む。文部科学省の言葉は削るか。

委員

市民の皆さんは文部科学省の言葉より、この審議会でのどのような結論が出たかを知りたい。

会長

文科省の言葉は削るで良いですか？（同意）ただ「一人一人の資質や能力」という言葉は残してほしい。これから日本の教育現場では大切になってくる言葉だから。「はじめに」は簡略化して、今までのいきさつを付け加え、次に2番目として、4の総括を持ってくる。

3番目に、3の10年後を削除した「より良い中学校教育環境について」としていいか？

委員

3番目は、5の課題を先に言った方がいいのではないか。総括を先に述べるのならば、付帯事項である5の課題を先に述べた方がいい。「統合した方がいいただし条件として」と述べた方がいいのではないか。そのあとに、2と3で我々がどのような話し合いをしたかと述べている。課題は大事なことなので先に書いて読んでもらいたい。

委員

検討とか考慮とかの表現で良いのではないか。

会長

課題として検討すべき事項なのではないか。

委員

課題と言っていい。

会長

総括の「保護者や地域の人々の意見」ということばをどうするか。

委員

「保護者や地域の人々の意見を参考にし」でいいのではないか。

会長

文部科学省の資料も参考にしたので、まず自分たちがやったことは議論、視察、中学校長からの意見を聞いた。

委員

文部科学省の資料も我々が精査したので、客観的なデータもきちんと踏まえているということを示しておく。

会長

自分たちがやったことをまず載せ、次に勉強したこと、客観的資料として文部科学省の資料も読み取り、伊豆市の現状との照合。

委員

この審議会で配布された中学校の資料もそうであるが、人数が減っていくという統計的な資料もあった。以前のアンケートの意見も参考にしている。文部科学省の資料だけでなく、伊豆市内の実態に関わる資料も検討材料にしている。

会長

やったことと、勉強したこと、意見として参考にしたことという順番で総合的に考え、修善寺、中伊豆、天城地区の中学生にとってより良い教育環境としては、中規模校程度の生徒集団が適切だと考える。そのためには統合すべきであるという意見に達したというながれで。

委員

4) では、「部活」、「部活動」ということばが混在している。使い分けがどのようになっているのか。統一した方がいい。

5) では、ネガティブなことを並べているが、雨漏りはネガティブであるが、バリアフリーは必要なことで望ましくない教育環境をいっているのでバリアフリーは逆なことになるので好ましくない。

会長

雨漏りやトイレ等望ましい教育環境ではない。またバリアフリーなどのユニバーサルデザインがすすんでいない。

事務局

「バリアフリー」を除けばいいのではないか。

会長

「バリアフリー」を除いて、等に集約する。

委員

2)で「中学校では高等教育、社会人に繋がる」とあるが、高等教育と並べるのであれば、「社会に繋がる」の方がいいのではないか。

会長

社会に繋げるではどうか。

委員

その次の「基礎的な人間関係を構築する」というのは中学校の役割としてそのようなことなのか、人間関係を構築する資質を蓄えるということであって、中学校の人間関係がその先に進んでいくということではない。

会長

社会に繋げる人間関係の基盤を構築する役割でどうか。修正したものは次回か。

事務局

出来れば次回開催前に委員に送付してチェックしていただきたいとは考えている。

5 その他

金刺部長 次回は6月5日(火)19時15分から別館会議室にて行います。

6 閉会 午後9時00分